

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006.05.31

参加者 西本（城東台小） 倉橋（西大寺南小） 松本（幸行小） 福井（中央小）

【思いがけない子供の発想ー並列つなぎ】 松本

電池1個の時と2個つないだ時の豆電球の明るさを比べようという実験で、ある子供が「先生、同じ明るさだよ！」という。よく見ると2個の電池を同じ向きにそろえて持ち、1個のソケットにつなげているのです。こんなシンプルな並列回路は、すごい発想ですよ。



【人間回路用ピチューに導線をハンダづけ】 松本

みんなで手をつないで輪になり、ETのように指をタッチしてピチューを鳴らせる『人間回路』ですが、これまで持ちにくいという欠点があったので、導線をハンダづけして改良しました。



【マグデブルグの半球】 福井

実験好きのマグデブルク市長のゲーリケさんが馬を使って公開実験したことで有名な大気圧実験装置を津山市の木浪健二郎さんが身近な材料を使って自作してくれました。とても性能がよく、大人2人が引っ張ってもビクともしません。



【盆栽用針金で巨大シャボン玉作り】 倉橋

これまで巨大シャボン玉作りでは針金ハンガーを変形させ、包帯を巻くか中空のひもを通して作っていました。ところが倉橋先生が開発した器具には布がありません。盆栽用針金を束ねてねじり、好きな形にするだけです。作り方も簡単だし、水洗いしやすいので片付けもラク。性能もかなり良いそうです。右の写真はキティちゃん(?)のような器具ですが、このように長い針金を変形することで大きなシャボン玉がコンパクトな器具で作れるようになるそうです。ところで松本先生によると最近の泡切れの良い洗剤ではうまくシャボン玉ができないというのですが、これは一般的なことなのでしょうか？



【計算用ノートと4年生のわり算学習に九九表を使うアイデア】 松本

テストの欄外に細かい字で筆算などを書くとミスの原因になるので、計算用にノートを半分にカットした物を使わせているそうです。また、わり算の学習では計算の苦手な子も意欲をもって取り組めるように九九表を用いています。



【スペースがないので項目のみ紹介ーその他のネタ】 福井

- ・そのまま万華鏡（四角いアルミ管）
- ・シークレットペンで影をキャッチ
- ・高松式綿菓子器を量産中
- ・ヘリウムボンベとコルクボードの再販売

